リンテック

印材部門、国内外で堅調

「LIP-2016」も発表　14年3月期決算を報告

リンテックは5月15日、東京証券取引所内の日本証券アナリスト協会会議室で「2014年3月期決算および新中期経営計画『LIP−2016』概要説明会」を開催。同社の14年3月期売上高は、前期比6・5%増の2032億4200万円、また経常利益は19・9%増の131億6500万円と増収増益を報告した。

売上高に関してリンテック単体では産業工材事業部門が需要低迷によって減少するも、そのほかの事業部門が順調に推移した。一方連結子会社では、マディコのウインドーフィルムとリンテックコリアのMLCC（積層セラミックコンデンサー）コートフィルムが減少する中、シール・ラベル用粘着製品が東南アジア先進諸国を中心に好調。加えて半導体関連の粘着テープが台湾、シンガポールを中心に順調な伸びを見せた。

次に事業部門別では、ラベル関連製品を扱う印刷・情報材事業部門の売上高が535億2900万円と、前期比8・0%増を計上。国内では物流関連のほか医薬、食品用途が堅調に推移した。海外では中国、成長著しいASEAN地域の好調がこれに起因している。

一方、産業工材事業部門は327億4100万円と同1・3%減。東南アジアを中心とした2輪を含む自動車用粘着製品が堅調さを見せた反面、米国やアジアでウインドーフィルムが減少した。

このほか洋紙事業部門は、カラー封筒用紙がNISAや消費増税前の特需の影響で順調に推移するなどして161億2700万円と同1・5%増。加工材事業部門は、炭素繊維複合材料用工程紙が主に航空機用で好調。同9・4%増の217億0300万円となった。

来期は売上高2100億円、経常利益155億円と増収増益を目指す。このうち印刷・情報材事業部門については、消費回復による国内での需要増加と中国、インド、ASEAN地域の市場拡大を期待して前期比5・6%増の売上高565億円を見込む。

引き続き、同社の新たな中期経営計画「LIP−2016」に関する概要を説明。

西尾弘之社長は基本方針を「攻めの経営と間断なきイノベーションで成長軌道を取り戻す」とし、重点テーマに①グローバル展開のさらなる推進②次世代を担う革新的新製品の創出③強靭な企業体質への変革④戦略的M&Aの推進⑤人財の育成、以上5点を明示した。

①については、12年3月期から14年3月期に掲げた「LIP−Ⅲ」実行時に設立した製造・販売子会社の活用、現地新規顧客の獲得による「アジア地域を中心とした海外事業の拡大」、本格的な市場調査とターゲット製品の選定を図って販売網を構築する「未進出地域での事業基盤づくり」などを強調。関連して同氏はタイ、蘇州工場の稼働率向上の必要性を説き「海外売上高比率40%以上を目指していく」と述べた。

独IST

日本に東アジア拠点新設

UV・LED兼用システム訴求

マークス・ティンネス社長

UVシステムメーカーとしてグローバル展開を図る独IST Metzはこのほど、10カ国目の拠点として、東アジア地域を担当エリアとするISTイーストアジア㈱（東京都大田区蒲田、マークス・ティンネス社長、☎03・6715・9750）を設立した。

また、それに伴って現在、小型でカスタマイズ性に優れた独自技術のUVシステムとLED−UVシステムをラベル市場に訴求。

中でも、独自技術により、UVランプユニットとLED−UVモジュールの容易な交換作業を実現する兼用機「MBS−6（LED対応）」シリーズを、省電力と高効率化を実現するシステムとして、積極的に提案している。

IST Metzでは近年、アジア地域にも精力的に展開。各地域の印刷市場で高いシェアを獲得している。新設のISTイーストアジアは、日本をはじめ、韓国や台湾を担当する。

MBS−6は、欧米で浸透しつつある印刷工程での省電力化ニーズに応えるため、LED−UVの規格にも対応するコンセプトの元に開発された製品。ランプハウスや電気配線、総合制御盤などの規格を統一化することで、ラベル印刷機に搭載された状態のシステムから内部のUVランプユニットを引き出し、LED−UVモジュールを差し込む、といった容易な交換方法を採用している。

UVとLEDの兼用を実現した「MBS-6」シリーズ

ティンネス社長は、同製品の特徴について「日本のラベル市場は、LED−UVの関心が高まっているが、特色インキやニスコーティングなどへの対応から、高光量のUVを活用する状況と聞く。当製品は、印刷機に搭載した状態で中身のみを交換できることから、ニスだけUVを残し、CMYKはLED化するといった製造ラインの構築も可能。省電力化と生産効率の向上に貢献する」と説明する。

また、カスタマイズにも柔軟に対応。高速印刷向けとして、水冷タイプやハイパワータイプなどもオプションとしてラインアップしている。

日本市場への戦略に関して、ラベル印刷機メーカーをはじめ印刷会社に対し、良好なメンテナンス性やアフターサービスへの対応などをPRする方針。

その一環として、7月の「ラベルフォーラムジャパン2014」では、インテグレーションテクノロジー（東京都府中市府中町、☎042・310・9717）のブース（H−7）において、MBS−6をはじめ、同社の高い技術を紹介する。

インフォトレンズ

コンファレンスを開催

プリント市場を解説　7月に東京で

㈱インフォトレンズ（東京都渋谷区恵比寿、山内亨社長）は7月17日㈭、港区港南の東京コンファレンスセンター・品川で、「ワイドフォーマット、ラベル・パッケージング、インダストリアル、3Dプリンティングコンファレンス2014」を開催する。

同コンファレンスはサインやラベル、パッケージ、3Dプリントなど、プリンティング市場で成長が見込まれる分野に関して、日米の同社アナリストが、詳細なデータを基に解説する。

ラベル関連の講演は2セッションが用意されており、同市場に新たに登場したB2サイズ以上の枚葉機について、最新情報を明らかにする。

参加費は特別早期割引が6万4584円（6月19日㈭まで）、早期割引が7万5384円（7月10日㈭まで）、通常料金が8万6184円（7月11日㈮以降、いずれも税込み、料金にはテキスト、コーヒー・昼食代込み）となっている。

問い合わせは同社（☎03・5475・2663）。

山口・宇部に新工場　15年9月操業開始へ

フジシール

フジシールインターナショナルはこのほど、グループ企業の㈱フジシールウエスト（柴田康裕社長）が山口県宇部市の宇部テクノパークに新工場を建設すると発表した。生産体制の強化とBCP（事業継続計画）が狙い。

新工場に関する概要は次の通り。

▽工場所在地…宇部テクノパーク（山口県宇部市大字山中）▽敷地面積…9万6790平方㍍▽投資概算額…約100億円（土地代含む）▽人員規模…約100名（予定）▽操業開始…2015年9月（予定）

㈱フジシールウエストは14年2月に設立。粘着ラベルをはじめシュリンクラベル、ソフトパウチなどの製造、販売を行う。

業界短信

フォーム工連が総会…日本フォーム印刷工業連合会（櫻井醜会長）は6月3日㈪午後4時から、文京区関口のホテル椿山荘東京で「平成26年度通常総会」を開催。

JPMが総会…㈳日本プロモーショナル・マーケティング協会（堀宏明理事長）は6月17日㈫午後3時30分から、千代田区丸の内の東京会館で「第45回定時総会」を開催。

人事・機構改革

ローランド ディー.ジー.〈6月1日付〉上級執行役員経営戦略室付（上級執行役員経営企画本部長）竹内俊二▽執行役員米州セールス本部部長（執行役員グローバルSCM本部副本部長）星野立法▽執行役員経営企画本部長兼財務経理本部長兼企画部長（企画部長）長野直樹▽人事総務本部人事サービス部長（人事総務本部人事サービス部長付）遠藤勝彦

東洋インキSCホールディングス〈7月1日付〉常務取締役品質保証・生産・環境、調達、企画原価担当（常務取締役品質保証・生産・環境、企画原価担当）住山政弘▽取締役生産・物流本部長（取締役生産・物流・調達本部長）東慎一▽常務執行役員兼東洋インキグラフィックス西日本㈱代表取締役社長兼東洋インキ㈱取締役関西支社長（常務執行役員兼東洋インキ㈱取締役関西支社長）前田浩之

機構改革…生産・物流・調達本部を解組、生産・物流本部と調達本部を新設▽生産・物流本部の傘下に企画室、情報システム部、プロセスイノベーション研究所、環境安全推進部を設置

東洋インキ〈7月1日付〉執行役員トッパングループ営業本部長兼東洋インキSCホールディングス㈱執行役員（執行役員凸版営業本部長兼東洋インキSCホールディングス㈱執行役員）芹澤登史也

機構改革…凸版営業本部をトッパングループ営業本部へ改称

東洋アルス〈7月1日付〉代表取締役社長（常務取締役）天野正昭

インタビュー

カナエ

「会社を変える」デジタル機を導入

志川 孝之 社長
星沢 伸治 工場長

――社長に就任されて5年目ですが、まずは現状を

志川 当社は、凸版間欠機や輪転機、平圧機などによるラベル印刷をメーンに包装資材の販売も展開しています。私が社長に就任したのはリーマン・ショックの年で、どん底の経済環境でした。その中でも、売上が大きくへこむこともなくここまでやってこられたのは、社員が一丸となってがんばってきたからだと思っています。

――オンデマンド印刷には以前から取り組まれていますが、SurePressを導入した経緯は

星沢 極小ロットについては、シート出力してプロッターで抜く形態で以前から手がけていました。

志川 そうした意味ではオンデマンド印刷に抵抗はなかったのですが、いざ生産機としてデジタル印刷機を入れるとなると、それはどうなのか、といった空気が現場にはあったような気がします（笑）。エプソンのプライベートショーやセミナーなどに参加して実機も見ていく中で、私個人としては、SurePressと抜き加工機が連動している様子を映像で見て、こちらいけるける、と決断したのが実情です。

――やはり、従来通りの一工程で印刷から抜きまでできるのは大きかったわけですね

志川 最初の印象としては、印刷スピードが遅く、抜き加工も別工程ではちょっと難しいなと思っていました。しかし、光電管センサー制御で抜き加工まで同期している映像を見た時に、330㍍の広幅粘着紙に、同じサイズでデザインの異なるラベルが印刷できるということは、すごく付加価値の高い新しい仕事が展開できるのでは、と思ったのです。

――新たなビジネスに着手できる印刷機とも位置付けられたと…

志川 社長に就任してから常に、新しいことにチャレンジすべきで変わっていかなければと考えていました。会社に多少の余力がある今であれば、例え失敗したとしても、何かをつかみ、それを次につなげられるのではないかと…。挑戦しなければ、新たな販路や成長は望めない時代ですから。

――長野は印刷の町と伺っていますが、同機での展開を含め今後の展望を

星沢 長野はオフセット印刷を手がける企業が多く、オフセット品質が求められることも多い町です。だからといって、これから当社が間欠オフセットを設備するのは、会社規模や設備投資面でも難しい。そういう意味で、SurePressには期待がかかります。ただ、コンベンショナル機と同様、のりとの戦いにはなると思いますが…。

志川 SurePressであれば、オフセット品質を再現できますし、本機による校正紙がすぐに出せるのはかなりの武器になります。さらには、当社が得意とする食品分野はもちろんそれ以外の需要分野でも、エンドユーザーが買いたいと思えるような新規性に富んだラベルや包材を当社から提案し、それが広く採用してもらえるようになったら最高だと思います。

――社長に就任されて5年目ですが、まずは現状を

志川 当社は、凸版間欠機や輪転機、平圧機などによるラベル印刷をメーンに包装資材の販売も展開しています。私が社長に就任したのはリーマン・ショックの年で、どん底の経済環境でした。その中でも、売上が大きくへこむこともなくここまでやってこられたのは、社員が一丸となってがんばってきたからだと思っています。

――オンデマンド印刷には以前から取り組まれていますが、SurePressを導入した経緯は

星沢 極小ロットについては、シート出力してプロッターで抜く形態で以前から手がけていました。

志川 そうした意味ではオンデマンド印刷に抵抗はなかったのですが、いざ生産機としてデジタル印刷機を入れるとなると、それはどうなのか、といった空気が現場にはあったような気がします（笑）。エプソンのプライベートショーやセミナーなどに参加して実機も見ていく中で、私個人としては、SurePressと抜き加工機が連動している様子を映像で見て、こちらいけるける、と決断したのが実情です。

――やはり、従来通りの一工程で印刷から抜きまでできるのは大きかったわけですね

志川 最初の印象としては、印刷スピードが遅く、抜き加工も別工程ではちょっと難しいなと思っていました。しかし、光電管センサー制御で抜き加工まで同期している映像を見た時に、330㍍の広幅粘着紙に、同じサイズでデザインの異なるラベルが印刷できるということは、すごく付加価値の高い新しい仕事が展開できるのでは、と思ったのです。

――新たなビジネスに着手できる印刷機とも位置付けられたと…

志川 社長に就任してから常に、新しいことにチャレンジすべきで変わっていかなければと考えていました。会社に多少の余力がある今であれば、例え失敗したとしても、何かをつかみ、それを次につなげられるのではないかと…。挑戦しなければ、新たな販路や成長は望めない時代ですから。

――長野は印刷の町と伺っていますが、同機での展開を含め今後の展望を

星沢 長野はオフセット印刷を手がける企業が多く、オフセット品質が求められることも多い町です。だからといって、これから当社が間欠オフセットを設備するのは、会社規模や設備投資面でも難しい。そういう意味で、SurePressには期待がかかります。ただ、コンベンショナル機と同様、のりとの戦いにはなると思いますが…。

志川 SurePressであれば、オフセット品質を再現できますし、本機による校正紙がすぐに出せるのはかなりの武器になります。さらには、当社が得意とする食品分野はもちろんそれ以外の需要分野でも、エンドユーザーが買いたいと思えるような新規性に富んだラベルや包材を当社から提案し、それが広く採用してもらえるようになったら最高だと思います。

長野県を中心にラベルおよび包装資材を販売する㈱カナエ（長野市東和田、志川孝之社長、☎026・243・0660）は5月28日、セイコーエプソンのインクジェット（IJ）デジタルラベル印刷機「SurePress L−4033AW」を導入した。同機は、セイコーエプソンの本社がある長野県および日本での世界累計設置台数100台目となるもので、今後、同社のビジネスを広げる戦略機として期待されている。志川社長と工場長の星沢伸治氏に導入経緯や展望を聞いた。（鈴木）

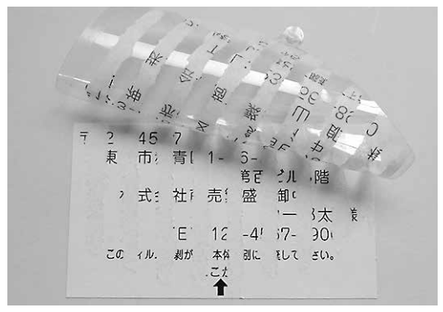
凸版間欠機などが並ぶ工場

「SurePress」世界販売累計100台記念の感謝状を手に

㈱野本商会（神戸市兵庫区塚本通、野本伸也社長、☎078・574・0515）はこのほど、個人情報保護用シール「ベリトル」を開発した。すでに製造特許を取得しており、宅配やDM、金融業界での採用を見込んでいるほか、ラベル印刷会社に対してもPRを行い、同製品の普及に努める方針。

野本伸也社長

同製品は、透明PET基材の裏面に粘着剤をストライプ状に塗工している点が特徴。住所や氏名、電話番号など個人情報が記載された箇所にあらかじめ貼り付けておき、廃棄時に剥がすことで、個人情報が細い線状に破損し、情報の解読を防止するといった効果がある。


剥がすと印刷箇所が部分的に破損し、個人情報を保護

同社はこれまで、個人情報保護の粘着製品として、部分粘着加工技術を応用した「シュレッダー・シール」を開発し、DMなどに採用された実績がある。しかし、ユーザーから「剥がしにくい」「ストライプの幅が広すぎて情報を読み取られてしまう」といった声が挙がり、これを受けて新製品の開発に着手。粘着力を最適化しつつ、粘着塗工の幅を狭めた。その際、塗工部分をユーザーが把握しやすいように着色する工夫も施している。製品形状も、ホームベース状にした上で、その頂点につまみを形成することにより、課題のクリアに成功した。

製品展開について、野本社長は「個人情報を安全かつ低価格で保護する特徴を継承しつつ、使いやすさをさらに追求した。形状や表面への印刷など、要望に応じてカスタマイズすることも可能。また、ラベル印刷会社の皆さんにも材料供給することで、ラベル市場の新たなビジネス領域拡大にお役立ていただけたら、と考えている」とコメントしている。

野本商会

個人情報保護シール新開発

低価格で剥がしやすさ追求

村田金箔グループ
◆ホットスタンプ・ホログラムの情報発信源
「光る」アイテムおまかせ下さい
東京本社/東京都文京区大塚3丁目21番4号　〒112-8634
TEL（03）3947-6111（代表）　FAX（03）3947-7431
大阪本社/大阪市阿倍野区松崎町3丁目14番22号　〒545-0053
TEL（03）3947-6111（代表）　FAX（06）6623-8233
ISO 9001 14001 認証取得
札幌・仙台・北関東・静岡・富山・名古屋・広島・四国・福岡・上海・香港・深圳・バンコク
URL　http://www.murata-kimpaku.com
e-mail（総合）info@murata-kimpaku.com

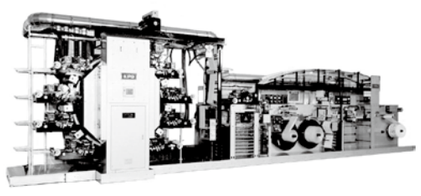
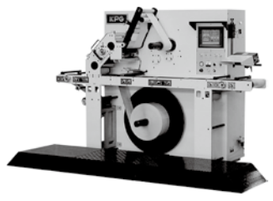
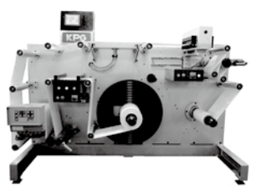
USED PRINTING & RELATED MACHINERY
中古ラベル印刷機
その他印刷・製本・紙工機械
高価現金
買取致します
Jay Enterprises
（株）ジェイ エンタープライズ
東京都世田谷区野毛3-7-6 〒158-0092 TEL03-5706-5100
http://www.jay.co.jp　sunish@jay.co.jp

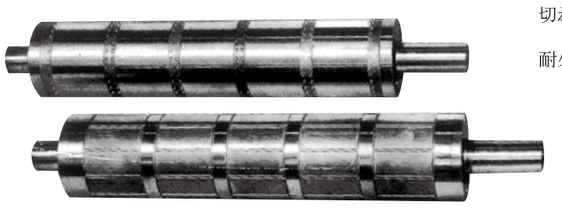
印刷部
シルクスクリーンラベル印刷
インクジェット
製版部
感光性樹脂凸版の製版
（アナログ／CTP）
七転び八起き
刃型部
ラベル印刷用ゼンマイ刃
樹脂盛り部
樹脂盛り（ポッティング）加工
吉田産業株式会社
名古屋市西区あし原町262
TEL 052-502-7625
http:// www.ys7.jp
FAX 052-503-9088

シール、ラベル印刷の事ならタニダにお任せ下さい。
シールの外注先でお困りの事はありませんか？・・・タニダは機械設備と実績でお応えします。
●品質管理：CCDカメラ検品機等を駆使し、厳しい管理体制で安心出来る商品をお届け致します。
●納期対応：多種多様豊富な機械台数で、無理な納期にもお応え致します。
●価　格：製造メーカー直ならではの特値対応等、全てご相談に応じます。長納期の商品については、中国（大連）工場にて格安の価格で対応致します。

（本社）
シール、ラベル
あらゆるニーズにお応えします。
ホームページアドレス
http://www.tanida-kk.com
the 時代を貼りつくす。
by Tanida タニダ株式会社

中国（大連）
取扱品目：一般シール類、ファンシーキャラクターシール類、シルク・特殊加工類、ノベルティー関連、その他
本　社／〒690-0046 島根県松江市乃木福富町735-208（松江湖南テクノパーク）
TEL（0852）27-1333（代表）FAX（0852）27-6514
製本部／TEL（0852）27-5937　FAX（0852）27-5937
東京営業所／〒101-0022 東京都千代田区神田練塀町1番地第一砂川ビル2F
TEL（03）5297-6425　FAX（03）5297-6426
大阪出張所／〒547-0034 大阪市平野区背戸口4-3-5プロスパー山原3F
TEL（06）6797-7756　FAX（06）6797-7616
E-mailアドレス／seal@tanida-kk.com

長年の実績と経験に培われた高い技術力で
多種多様な需要に対応した、高品質の製品をご提供します。

UVフレキソ・レタープレス印刷機

ラベル検品機

インクジェット印刷用搬送機
KPG ケーピージー株式会社
〒110-0016 東京都台東区台東 1-12-8 金子ビル 6F
TEL: 03-3834-2560 FAX: 03-3834-2558
http://www.kpg-corp.jp e-mail: info@kpg-corp.jp

信頼される技術、満足される品質。
★精度・切れ味・耐久性を兼備★

ツジカワのダイカットロール
精　度 ―最新設備・計測機器を用いて、ミクロン単位に迫る精密さを実現。
切れ味 ―長年培った経験とノウハウに基づき、製品ごとに最もふさわしい刃形状を設定。
耐久性 ―素材選び、熱処理、表面処理、そして優れた加工技術により、高い耐久性を実現。
●営業品目
ダイカットロール・エンボスロール・彫刻刃型・エッチング刃・ダイカットロールユニット・ホットスタンプ版・エンボス版・パッド印刷版・印刷用受治具・刻印・その他彫刻製品
大阪 東京 上海
ツジカワ株式会社
本　社　〒545-0021　大阪市阿倍野区阪南町1丁目15番8号　TEL 06-6621-3981（代）　FAX 06-6622-3901
八尾工場　〒581-0072　大阪府八尾市久宝寺4丁目3番26号　TEL 072-928-1909　FAX 072-928-1912
東京営業所　〒112-0002　東京都文京区小石川5丁目5番1号　TEL 03-3942-0173　FAX 03-3942-0174
上海迂川制版模具有限公司　上海市嘉定区馬陸鎮豊饒路123号　TEL 86-(0)21-69156215　FAX 86-(0)21-69156227
Home Page　http://www.tsujikawa.co.jp　E-mail　tsujikawa@tsujikawa.co.jp
ISO 9001 JGA-QM4414　ISO 14001 JGA-EM3817